

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	小松 弘樹	地域企画課	地域振興班	北野 悟	0182-32-0594	第2回YOKOTE発酵FESにおける展示パネル作成及び展示装飾に係る委託業務	発酵文化に関して、発酵ツーリズムなどの活発な展開が県内各地で見られる中、横手の豊かな発酵文化の再認識及び継承を主眼とする一方、横手の発酵文化を活かして県内外からの誘客促進を図り、地域振興における観光素材の一つとする取組が必要である。	291,500	委託	第2回YOKOTE発酵FES(11/23～24、秋田ふるさと村ドーム劇場、来場者数約1200名) ・「横手の豊かな発酵文化」の認識と継承を中心に発酵の効能や活用等、様々な角度から発酵を学び、体験できるイベントとして、発酵ミュージアム、発酵マルシェ、発酵ワークショップ、発酵カフェ等を開催。 ・会場内に横手の豊かな発酵文化を再認識できるよう発酵の効能や活用等を紹介する展示パネルの作成と装飾業務を(一社)横手市観光推進機構に委託した。	(一社)横手市観光推進機構	横手市民を主体とした県民	令和元年11月1日	・横手に多数存在する発酵文化について、見る・聞く・食べるといった体験を通して、来場者に発酵食品の素晴らしさを再確認していただくことや、興味の無かった人に関心を持っていただく良い機会となった。	・令和2年度の秋季に横手市で第143回秋田県種苗交換会が開催され、その期間中に「全国発酵食品サミットinよこて」が同時開催されることになっており、今回のフェスの経験や課題を活かし関係機関と協議しながら発酵文化の再認識等に対する機運を高めるよう取り組んでいく。
						令和元年11月1日～令和2年1月31日									
総務企画部	小松 弘樹	地域企画課	地域振興班	袴田 洋介	0182-32-0594	横手のスゴイ企業発見!!ガイダンス	将来の進路を検討する高校2年のこの時期を捉え、地元企業から直接事業概要や採用計画などの説明を受け、生徒の意思に基づき正しい職業選択を促し、就職後のミスマッチによる離職を防止するとともに、将来的な県内・地元就職と地域の活性化を図ることを目的とする。	50,000	直営	高校2年生対象「横手のスゴイ企業発見!!ガイダンス」の開催(2月、1回、参加事業所60社、参加生徒477名)	県、横手市、横手雇用開発協会、ハローワーク横手	管内高校等2年生及び就職指導担当教員、ハローワーク管内の企業	令和元年12月1日	・企業が積極的に自社のPRを行えたことで、高校生が地元企業を知る良い機会となり、今後も引き続き開催してほしい旨の意見が企業側や学校教員・生徒からあった。 ・初めて保護者にも参加の周知をしたところ、1名のみであったが、生徒が1名も参加していない横手高校の保護者の参加があった。	・平鹿管内の令和2年2月末の高校生の県内就職率は63.5%で前年より増加したものの、全県平均と比較すると低い状況である。 ・一方で、新型コロナウイルス感染症が経済に与えている影響は大きく、雇用情勢を見ても新規求人数は減少傾向である。また、人手不足感も依然として見られることから、地域産業を支える人材の育成・確保に向けた取組を積極的に展開していく必要がある。 ・このため、引き続き各関係機関と連携し、高校生や学校教員などに対して、工場見学会、企業説明会、インターンシップといった地元企業の魅力を伝えられる機会を継続的に提供し、また、雇用のミスマッチ解消、県内就職・地元定着が促進されるよう努めていく。 ・横手市と連携し、ハローワークや県立学校等の各関係機関と協力の上、地域産業を支える人材の育成・確保の支援について、積極的に展開していく必要がある。
						令和元年12月1日～令和2年2月29日									